

第 5 期

事業報告書

令和 3 年 6 月 1 日から

令和 4 年 5 月 31 日まで

株式会社 豊かな丘

事業報告

新型コロナウイルス感染症は、昨年7月から9月下旬頃（デルタ株）の第5波、今年に入り1月から3月上旬（オミクロン株）の第6波と、その都度の「まん延防止等重点措置」により、経済活動の抑制を余儀なくされるなど、我が国経済に甚大な影響をもたらしてきましたが、ワクチン接種が進み、重症化は抑えられております。しかし、この8月にも新たな感染拡大（第7波）が予想されるなど引き続き予断を許さない状況が続いております。

また、日米の金利差が拡大したことから急速に進んだ円安の影響や、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした小麦価格の上昇や原油高騰など、急激に物価が上昇しており、仕入れ原価の上昇など、経常経費の上昇で企業にとっても、また消費者にとっても大変な時代を迎えております。

こうした中、長野県においては信州割クーポン券や食事券の発行、豊丘村においても、だんQ商品券の配布や飲食店支援等、各種施策が展開され、当社にとってもこの支援策を大いに活用させていただいてきました。

さて、当社の第5期の業績は、前半はコロナ禍で地域外からの誘客（観光客）ができない中、地域内への訴求に努め、後半は人流が戻ってきたこと、そして何といても松茸の大豊作に支えられたことから、売上高は前期比+5,213万円（+18.4%）の3億3,583万円（これまでの最高額）となりました。しかしながら、新規社員の採用に伴う、給与手当、法定福利費等の増加及び社員全般の待遇改善を図ったほか、光熱水費の増加により、純利益は前期比△35万円（△15.4%）の189万円となりました。

第1四半期の6月から8月の来場者数については、感染症第5波の影響により移動の自粛が強く、個人観光の停滞や「さくらんぼ狩り」、「桃狩り」といった団体の観光バスツアーのほとんどが中止となり、期間中の来場者数は前年同期比△770人（△0.7%）の11万3,800人（別表（1）参照）と前期同様に低調に推移しましたが、この期間中の売上高は、前年同期比+863万円

(+12.8%) の 7,593 万円 (別表 (2) 参照) となりました。

この時期から、村をはじめとした感染症対策支援策 (9 頁 (6) 参照) が実施されはじめ、積極的に活用を図る中で業務運営の維持に努めました。

感染症第 5 波がピークアウトした 9 月下旬頃からは、来場者数が徐々に回復し始め、さらには 9 月下旬から 10 月下旬にかけて大豊作であった松茸を求める個人客が殺到し、来場者数は前年を上回るまで回復しました。第 2 四半期の 9 月から 11 月の来場者数は前年同期比 +2,100 人 (+1.5%) の 14 万 2,100 人となり、売上高も同 +2,890 万円 (+28.8%) の 1 億 2,935 万円となりました。これにより、第 5 期 期首からの上半期の売上高は前年同期比 +3,748 万円 (+22.4%) の 2 億 528 万円となりました。

第 3 四半期の来場者数は前年同期比で△7,700 人 (△9.9%) の 6 万 9,900 人と、コロナ感染症警戒レベルが 5 となり、全県にまん延防止等重点措置が発令されたことなどからレストランを休業とするなどし、大幅に来場者が減少しました。一方、売上高はテイクアウト商品を充実させるなどにより、前年同期比で +50 万円 (+1.0%) と微増の 5,400 万円と、前年売り上げをキープすることが出来ました。なお、1 月～3 月上旬にあっては、従業員の計画休業を実施し、雇用調整助成金の支援 (9 頁 (5) 参照) を見込んでおります。

第 4 四半期の 3 月以降は、国民のワクチン接種も 3 回目が概ね済んできた影響もあってか、人流が活発になり、特に 5 月の大型連休中は 1 日 2,000 人を超える来場者があり、第 4 四半期の来場者数は前年同期比 +1 万 4,000 人 (+13.3%) の 12 万 400 人と大きく増加し、売上高も同 +1,400 万円 (+22.5%) の 7,650 万円となりました。

以上により、今期期首からの年間来場者数は、前期比 +7,700 人 (+1.8%) の 44 万 6,200 人となり、また、テナントの来場数を含めた道の駅全体では 94 万 8,000 人となりました。年間売上高は前期比 +5,213 万円 (+18.4%) の 3 億 3,583 万円 (共通部門含む) となり、来場者数、売上高ともに、過去最高となりました。

観光面においては、大きな集客となっていた「いちご狩り」、「さくらんぼ狩り」、「桃狩り」といった団体の観光バスツアーの催行が今期においてもままならない状況であり、観光事業による誘客は極めて厳しい状況が続いてい

ます。加えて、飯田下伊那地域内の飲食を提供していた複数の観光施設が一昨年閉業したことにより、当地域の観光事業に与える影響は極めて大きく、ツアーバスの昼食提供施設が求められております。

そこで、今期営農支援センターだいちを会場に、加工部門の惣菜弁当を提供する飲食店営業の許可を取得したことから、更に80人規模の昼食（蕎麦、五平餅、ちまき）プランを策定し、現在経済産業省の事業再構築助成金の申請を行ったところです。

独自のイベントについては、前期同様に、感染症対策を施せるものに絞って実施しており、軒下スペースでの「かあちゃんマルシェ」の開催などにとどまっています（7頁（3）参照）。

駐車場や24時間トイレなどの「道の駅機能」施設については、豊丘村からの管理委託料により適切な管理に努め、また、情報提供休憩施設内にあるのは、NPO法人とよおか総合型地域スポーツクラブに今年の3月末までは運営を委託しておりましたが、豊丘村観光協会「とよおか旅時間」の機能と重なる部分がある等のご意見をいただいた中、この4月からは村産業振興課の直営業務として運営されております。

第5期の運営状況は、前期同様に新型コロナウイルス感染症の影響に大きく左右され、国の雇用助成制度や県、村の支援制度を活用しながら、業務運営の維持に努めました。安定した運営のために、身近な地域内のファン、リピーターの獲得に取り組み、これまでの最高の売上とはなりましたが、これは秋の松茸大豊作による要因が大きく、毎年豊作とは限らないということを想定すれば、更なる経営基盤を固めることの重要性を再認識するところです。

会社目標である「全国で一番ワクワクする道の駅」の達成を目指し、第5期は「おもてなしの接客、商品によるファン、リピーターの獲得」を目標として取り組んできましたが、コロナ禍など社会情勢に左右されたりと、まだまだ中途半端な状況であり、経営基盤を確立するまでには至っていないものと思われまます。

第6期においては、更に掘り下げた目標を設定するなど、従業員が一丸となって取り組める行動目標を掲げ、結果として売上が増加する店づくりと、利益を確保する体制を構築してまいります。

1. 統計

(1) 来場者数推計（下段網掛け：前年同月）

単位：人・%

	直 売	レストラン	テイクアウト	合 計	累 計	累 計 前年比
6月	24,050	1,831	9,683	35,564	35,564	4.2
	23,455	1,753	8,928	34,136	34,136	
7月	25,803	2,154	10,523	38,480	74,044	5.2
	25,008	1,793	9,438	36,239	70,375	
8月	27,440	2,125	10,258	39,823	113,867	△ 0.7
	29,320	2,431	12,515	44,266	114,641	
9月	34,818	1,981	10,735	47,534	161,401	2.3
	29,375	2,308	11,375	43,058	157,699	
10月	39,623	2,747	12,085	54,455	215,856	2.5
	38,253	2,688	11,868	52,809	210,508	
11月	28,200	2,537	9,425	40,162	256,018	0.5
	30,680	2,646	10,835	44,161	254,669	
12月	21,158	1,600	5,248	28,006	284,024	△ 1.0
	23,755	1,527	6,903	32,185	286,854	
1月	13,645	920	4,408	18,973	302,997	△ 0.9
	13,385	855	4,523	18,763	305,617	
2月	16,983	1,041	4,890	22,914	325,911	△ 1.9
	17,980	1,954	6,713	26,647	332,264	
3月	22,553	2,154	8,138	32,845	358,756	△ 1.7
	22,118	2,406	8,090	32,614	364,878	
4月	27,998	2,090	10,048	40,136	398,892	△ 0.2
	23,658	1,734	9,450	34,842	399,720	
5月	30,913	2,702	13,778	47,393	446,285	1.8
	24,780	2,002	11,998	38,780	438,500	
合 計	313,184 301,767	23,882 24,097	109,219 112,636	446,285 438,500		
累 計 前年比	3.8	△ 0.9	△ 3.0	1.8		

(2) 売上額推移 (下段網掛け: 前年同月)

単位: 千円・%

	直 売	レストラン	惣 菜	加 工 (菓子含む)	テイクアウト	共 通	合 計	累 計	累 計 前年比
6月	13,374	2,427	1,242	2,014	2,622	76	21,755	21,755	11.2
	11,352	1,786	1,215	1,973	3,173	63	19,562	19,562	
7月	15,821	2,676	1,298	1,440	3,056	1,507	25,798	47,553	15.3
	14,148	1,907	1,094	1,225	3,234	71	21,679	41,241	
8月	17,569	2,633	1,439	1,403	2,930	2,404	28,378	75,931	12.8
	17,131	4,694	1,206	1,317	1,634	78	26,060	67,301	
9月	40,513	2,588	1,268	1,388	3,033	197	48,987	124,918	31.8
	18,095	3,317	1,159	1,602	3,154	152	27,479	94,780	
10月	39,147	3,520	1,515	3,317	3,604	1,000	52,103	177,021	27.6
	32,823	3,555	1,356	2,605	3,210	395	43,944	138,724	
11月	16,771	3,343	1,597	2,349	2,768	1,432	28,260	205,281	22.4
	19,035	3,490	1,349	1,974	3,061	119	29,028	167,752	
12月	13,894	2,526	1,126	4,171	1,718	576	24,011	229,292	18.7
	15,059	2,583	1,104	3,974	2,580	98	25,398	193,150	
1月	7,885	1,785	839	1,634	1,280	259	13,682	242,974	18.3
	6,328	1,592	774	2,190	1,303	56	12,243	205,393	
2月	9,886	1,768	948	2,315	1,429	56	16,402	259,376	17.2
	8,327	2,453	1,102	2,006	1,961	53	15,902	221,295	
3月	12,606	3,176	1,191	2,134	2,343	102	21,552	280,928	16.5
	10,378	3,319	1,395	2,212	2,394	61	19,759	241,054	
4月	14,970	2,732	1,340	2,728	2,912	289	24,971	305,899	17.0
	11,374	2,486	1,300	2,395	2,757	164	20,476	261,530	
5月	17,083	3,151	1,415	3,855	4,107	325	29,936	335,835	18.4
	12,121	2,706	1,330	2,415	3,494	107	22,173	283,703	
合計	219,519	32,325	15,218	28,748	31,802	8,223	335,835		
	176,171	33,888	14,384	25,888	31,955	1,417	283,703		
累 計 前年比	24.6	△ 4.6	5.8	11.0	△ 0.5	480.3	18.4		

(3) イベント等開催実績

6月12日(土)～13日(日)	かあちゃんマルシェ
6月13日(日)	ふれあい市
6月26日(土)～27日(日)	かあちゃんマルシェ
6月27日(日)	からふるマーケット(フリマ)
6月27日(日)	とよおかウインドアンサンブル
7月3日(土)	movMy(フラメンコライブ)
7月10日(土)～11日(日)	かあちゃんマルシェ
7月11日(日)	ふれあい市
7月24日(土)～25日(日)	からふるマーケット(フリマ)
7月25日(日)	エンジェル☆ファイターズ
8月8日(土)	movMy(フラメンコライブ) アンサンブルフルッタ(ライブ)
8月14日(土)～15日(日)	かあちゃんマルシェ
9月19日(日)～20日(祝)	お彼岸かあちゃんマルシェ
10月10日(日)	だんQくんウォーキング
10月10日(日)	movMyフラメンコライブ
10月16日(土)～17日(日)	かあちゃんマルシェ
10月17日(日)	とよおかウインドアンサンブル
10月23日(土)	オクトーバーフェスト フルーツエール「桃の誘惑」解禁イベント
10月24日(日)	アンサンブルフルッタサックスコンサート
11月13日(土)	墨田区外販
11月14日(日)	movMyフラメンコライブ
11月23日(祝)	とよおかマルシェ 秋の収穫祭
11月23日(祝)	かあちゃんマルシェ
11月23日(祝)	明治安田生命協賛 健康増進イベント
11月24日(水)	中央保育園五平餅づくり体験
12月12日(日)	movMyフラメンコライブ
12月19日(日)	かあちゃんマルシェ

12月19日(日)	りん活イベント
12月25日(土)	アンサンブルフルッタピアノライブ
1月22日(土)～30日(日)	名鉄観光主催バスイベント(5日間)
2月11日(金)～15日(火)	いちごフェア
2月19日(土)～20日(日)	かあちゃんマルシェ
3月12日(土)～15日(火)	いちごフェア
3月19日(土)～21日(月)	春のパン祭り
3月19日(土)～20日(日)	かあちゃんマルシェ
3月20日(日)	りん活イベント
4月23日(土)～24日(日)	4周年祭
5月5日(木)	からふるマーケット(フリマ)
5月21日(土)～22日(日)	かあちゃんマルシェ

(4) 広報実績

Yuika	毎月掲載
あいなび	年4回掲載
信濃毎日新聞	記事
中日新聞	記事
南信州新聞	スポット広告・記事
週刊いいだ	記事
中日ホームニュース	記事
THE 信州	随時広告掲載
SBC ラジオ	おいしい秋の大収穫祭(波田陽区)
東海ラジオ	飛び込みマイク(ワールド旅行外販)
観光雑誌	「東海じゃらん」「東海ウォーカー」「たびーな信州」 「南信州飯田観光ガイド」「長野 komachi」等
とよおか放送ネットワーク	随時音声放送・ページング放送

(5) 新型コロナウイルス感染症関連雇用調整助成金申請額（見込み）

雇用調整助成金	1 月休業分	344,355 円
	2 月休業分	608,757 円
	3 月休業分	133,077 円
	合 計	1,086,189 円

(6) 新型コロナウイルス感染症経済対策に係るクーポン券等受入実績

Go To イートクーポン券（6月～11月）	467,000 円
長野県民支えあい観光クーポン（6月～5月）	3,762,500 円
豊丘村プレミアム商品券（8月～1月）	1,312,000 円
豊丘村商工会お食事券（8月～9月）	150,000 円
豊丘村テイクアウトお食事券（9月～10月）	308,500 円
信州安心な店クーポン券（7月～11月）	254,500 円
信州プレミアムお食事券（11月～5月）	724,500 円
南信州おでかけクーポン券（6月～12月）	233,000 円
豊丘村結のお弁当事業（2月～3月）	129,500 円
合 計	7,341,500 円

2. 農産物直売部門

期末の出荷登録者数は 500 人を超え、飯伊の直売所の中では、最大人数の登録をいただいているものと思われます。今期の農産物の販売点数は前期比 1 万 200 点減少し、42 万 1,600 点と昨年より若干減少いたしました。売上高は、大豊作であった松茸出荷の影響が大きく、前期比 +4,335 万円（+24.6%）の 2 億 1,952 万円となりました。

販売額の上位は松茸が 3,353 万円、いちごが 1,187 万円、りんごが 1,147 万円となっており、販売点数ではいちご 2 万 6,840 点、きゅうり 2 万 3,560 点、りんご 2 万 3,290 点、となっております。

今期においても、感染症拡大防止のため出荷者研修会を開催することが出来ませんでした。栽培技術の向上とともに出荷意欲の向上を図る取り組みを第 6 期においては計画してまいります。また、見込客の状況を出荷

者へ事前にメールで配信することで、開店時間前に加え営業時間中の出荷にもご協力いただきました。

ウイズコロナの時代に入り、人流が戻る中、運営基盤を確立するための取り組みを意識しつつ、まずは生産者の皆様のご理解とご協力をいただく中、出荷量の確保と、出荷されたものを売り切る（但し、品質が悪い等の商品は店頭には並べないことの徹底）ことを中心に業務遂行を図ります。

3. テイクアウト部門

パン製造については、今期においても「国産小麦」「生地から手づくり」をコンセプトに事業を展開しており、この味を楽しみにされるリピーターが多く、注文される方も増えております。製造数の増加及び安定化に取り組む中、製造スタッフも経験を積み、ある程度の安定化が図られてきております。

ジェラートについては、「地域の果物、野菜」にこだわったジェラート製造にも取り組み、季節に応じた地元の旬の味を提供できるようになりました。やはり、ここ「とよおかマルシェならでは」の商品開発に取り組みながら、ジェラートを目的にマルシェへ来られるお客様、リピーター増を目指します。

なお、テイクアウト部門の来場者数は前期比 3,400 人減少の 10 万 9,200 人となり、売上高も前期比 15 万円減少の 3,180 万円と、前期とほぼ同程度となりました。

4. レストラン部門

今期においても、新型コロナウイルス感染症の影響を最も大きく受けている部門でしたが、お客様の減少分を充実したテイクアウト販売で補い、売上を確保してまいりました。

来店者数は前期比で 215 人減少の 2 万 3,880 人となり、売上高は前期比 156 万円減少の 3,232 万円と、概ね前期並みを維持しております。

「美味しい」「地元食材を最大限に活用」「手間暇を惜しまず」をコンセプトに、誰もが知っているメニューを専門店に負けないクオリティまで

引き上げつつ、安定供給できる体制づくりに引き続き取り組んできました。

また、テイクアウトにあってはレストランの味（メニュー）にないものを提供するなど、趣向を凝らした提供で、多くのリピーターを獲得してきました。

今後においても、地元食材を活用したメニュー開発、新しさを創出するなど、コンセプトに沿って、より良い店づくりに取り組んでまいります。

5. 惣菜部門

惣菜部門は、道の駅内の厨房で惣菜を製造し、農産物直売所「四季彩市場」にて販売を展開しております。手づくりのまごころ惣菜は、毎日食べられる優しい味が好評となっており、今期売上高は前期比 83 万円増加の 1,522 万円となりました。

今期においても他部門に比べ固定費率が高いため、製造工程の効率化が急務となっておりますが、全てにおいて手づくりにこだわっていることもあり、今後コンセプトの見直しも含めて検討してまいります。

6. 加工部門

加工品の製造は、第 1 農産物加工所（だいち西側）において農産物加工品を、第 2 農産物加工所（旧かあちゃんの店）で菓子の製造を行い、農産物直売所「四季彩市場」にて販売を展開しております。道の駅開設以来、商品の認知度も上がり、福神漬け等の漬物をはじめ、アップルパイを中心に販売数を伸ばしてきており、売上高は前期比 286 万円増の 2,875 万円となりました。

スタッフの高齢化が進んでいるため、新たな担い手の確保が急務となっている中、農産物加工製造においては、年間を通じた業務がないため、担い手の確保が難しい状況となっていることから、今後、加工業務に意識の高い地域おこし協力隊を増員し、業務の継承及び新商品の開発など課題解決に向けて取り組んでまいります。

第 5 期

決 算 報 告 書

令和 3年 6月 1日から

令和 4年 5月 31日まで

株 式 会 社 豊 かな 丘

(法人番号:5100001030824)

貸借対照表

商号 株式会社 豊かな丘

代表者 菅沼 康臣

令和 4年 5月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流動資産	(91,336,826)	I 流動負債	(36,896,163)
現金及び預金	71,460,619	買掛金	19,417,394
売掛金	8,554,873	未払金	14,222,869
棚前金	9,900,287	未払法人税等	467,200
未払金	360,000	未払消費税	2,782,900
未収入金	1,061,047	前受金	5,800
II 固定資産	(0)	II 固定負債	(0)
有形固定資産	(0)		
無形固定資産	(0)		
投資その他の資産	(0)	負債の部合計	36,896,163
		(純 資 産 の 部)	
		I 株主資本	(54,440,663)
		1. 資本金	30,690,000
		2. 資本剰余金	(0)
		3. 利益剰余金	(23,750,663)
		(1)その他利益剰余金	(23,750,663)
		繰越利益剰余金	23,750,663
		II 評価・換算差額等	(0)
III 繰延資産	(0)	III 新株予約権	(0)
		純資産の部合計	54,440,663
資産の部合計	91,336,826	負債・純資産の部合計	91,336,826

損益計算書

令和 3年 6月 1日から
令和 4年 5月31日まで

商号 株式会社 豊かな丘

(単位：円)

科 目	金 額	
I 売 売 上 高 内 部 上 高 売 上 上 高 売 上 上 高	303,806,688 1,284,257 29,905,436 838,330	335,834,711 335,834,711
II 売 上 原 価 期 首 棚 卸 高 商 品 部 仕 入 高 内 合 末 棚 卸 高 期 売 上 総 利 益	215,332,807 1,284,257	10,675,888 216,617,064 227,292,952 9,895,001 217,397,951
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 失		120,146,665 120,146,665
IV 営 業 外 収 益 受 雑 収 入		675 3,584,879 3,585,554
V 営 業 外 費 用 雑 損 失		-13,099 -13,099
経 常 利 益		1,888,748
VI 特 別 利 益		0 0
VII 特 別 損 失		0 0
税 引 前 当 期 純 利 益 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 利 益	467,200 467,200	1,888,748 467,200 1,421,548

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 3年 6月 1日から
令和 4年 5月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販売員旅費	80,837
広告宣伝費	1,744,428
運賃賃料	2,143,621
その他販売費	154,300
役員の報酬	240,000
給与手当	84,060,297
法定福利費	7,580,892
厚生費	1,980,244
一社料	627,100
地代家賃	360,000
修繕費	1,036,169
事務用品費	199,693
通信費	573,815
水道光熱費	7,862,295
租税公課	72,948
寄附金	5,000
接待交際費	45,741
保険料	172,220
その他消耗品費	3,850,008
諸費	81,000
管理費	246,000
支払手数料	3,595,410
雑費	3,434,647
合 計	120,146,665

棚卸資産の計算内訳

令和 4年 5月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商品	6,166,357
原材料	2,095,314
仕掛品(半成品)	1,633,330
貯蔵品	5,286
合 計	9,900,287

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 豊かな丘

令和 3年 6月 1日から
令和 4年 5月31日まで

(単位：円)

I 株主資本			
1. 資本金	当期首残高		30,690,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>30,690,000</u>
2. 利益剰余金			
(1) その他利益剰余金	当期首残高		22,329,115
繰越利益剰余金	当期変動額		
	当期純利益	1,421,548	1,421,548
	当期末残高		<u>23,750,663</u>
その他利益剰余金合計			
	当期首残高		22,329,115
	当期変動額		
	当期純利益	1,421,548	1,421,548
	当期末残高		<u>23,750,663</u>
株主資本合計			
	当期首残高		53,019,115
	当期変動額		
	当期純利益	1,421,548	1,421,548
	当期末残高		<u>54,440,663</u>
II 評価・換算差額等			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
III 新株予約権			
	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
純資産の部合計			
	当期首残高		53,019,115
	当期変動額		
	当期純利益	1,421,548	1,421,548
	当期末残高		<u>54,440,663</u>

個別注記表

令和 3年 6月 1日から

令和 4年 5月31日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

3,069株

IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、17,738.89円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、463.19円であります。

以上